



# いしがわ 議会だより

西山小学校  
西山ダッシュ村  
(16ページ参照)

66

2008.10.15

9月定例会	2
平成19年度各会計決算認定	3
決算特別委員会での質疑応答	4~5
決算認定の討論	6
一般質問	7~13
議会のうごき	14~15
「究める・人」シリーズ No.6 カサブランカ栽培	16

# 第3回 9月定例会で 議決された議案

人事案 2件 条例案 7件  
 一般議案 1件 補正予算案 6件  
 報告事件 1件



## 人事案

### ◎教育委員会委員の任命

奥山育男さん（海味、再任）  
 （賛成7人、反対1人、白票1人）

奥山 繁さん（海味、新任）  
 （賛成7人、反対2人）

### ◎町有林運営委員会委員の任命

荒木俊男さん（沼山、新任）  
 （全員賛成）

## 一般議案

### ◎西村山西部地区土地開発公社定款の一部変更

（賛成8人、反対1人）

書面による議決の条項を新たに加えるとともに、関係法律の改正に伴い、規定を整備しました。

## 条例案

◎特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定（全員賛成）

◎公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正  
 （全員賛成）

◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
 （全員賛成）

◎職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正（全員賛成）

以上の4議案は、上位関係法律の改正に伴い、規定を整備しました。

### ◎水沢温泉館条例の一部改正（全員賛成）

本年11月から開館時間及び休館日が変更になります。11月1日から3月31日までの開館時間は、午前8時から午後8時まで、休館日は毎週火曜日です。

なお、4月1日から10月31日まではこれまでと同様です。

### ◎大井沢温泉館条例の一部改正（全員賛成）

本年11月から開館時間及び休館日が変更になります。11月1日から3月31日までの開館時間は、午前10時から午後7時まで、

休館日は毎週木曜日です。  
 なお、4月1日から10月31日まではこれまでと同様です。

### ◎国民健康保険条例の一部改正（全員賛成）

減免に関する規定を整備しました。

## 補正予算案

### ◎一般会計補正予算（第2号）（全員賛成）

2439万8千円を追加し、歳入歳出予算総額は、49億4177万円となりました。

#### 主な追加内容

◆克雪住宅建築奨励補助金 90万円

◆地籍調査の図面情報デジタル化の費用 280万円

◆小規模畑地化工事費（沼山地内） 300万円

◆森林管理道熊野線開設工事費 59万6千円

◆姥ヶ岳公衆便所修繕工事費 45万円

その他に、5 特別会計補正予算が全員賛成で議決されました。

## 報告

◎平成19年度健全化判断比率及び資金不足比率

本年4月に施行された地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく本町の健全化判断比率は次のとおりで、健全段階にあります。

◆実質公債費比率（※1） 20・6%

◆将来負担比率（※2） 111・2%

#### 用語の説明

※1 実質公債費比率  
 公債費及び公債費に準じた経費の比重を示す比率で、25%までが健全段階です。

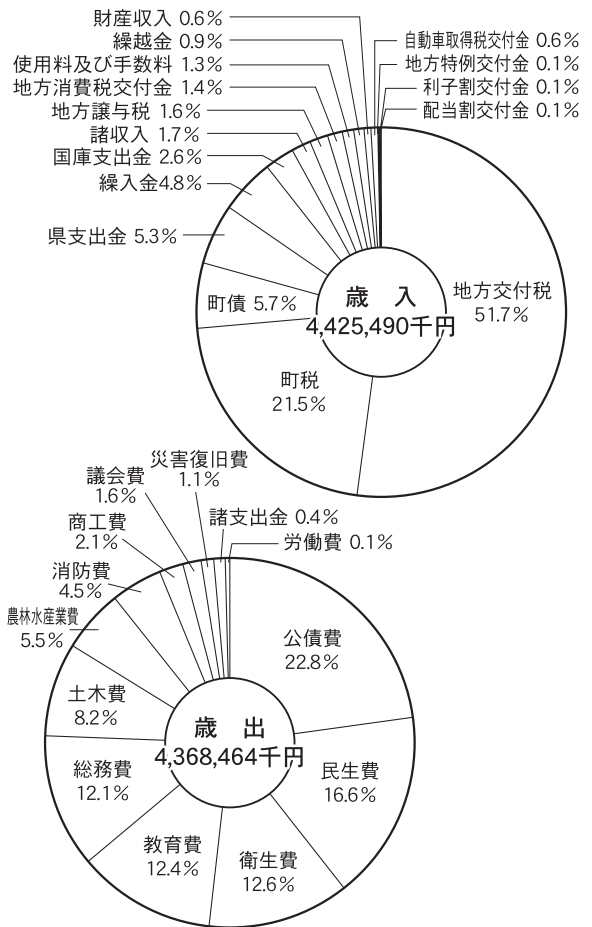
※2 将来負担比率  
 町債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率で、350%までが健全段階です。



### 一般会計・特別会計歳入歳出決算状況 (単位:千円)

会 計	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	
1 一 般 会 計	4,425,490	4,368,464	57,026	
2 国保特別会計	事業勘定	854,505	719,073	135,432
	施設勘定 (大井沢歯科診療所)	3,264	3,189	75
3 老人保健特別会計	782,087	782,087	0	
4 簡易水道特別会計	36,751	31,177	5,574	
5 路線バス事業特別会計	54,973	54,966	7	
6 公共下水道事業特別会計	374,854	374,461	393	
7 農業集落排水事業特別会計	25,016	24,968	48	
8 寒河江ダム周辺施設管理事業特別会計	4,010	3,915	95	
9 介護保険特別会計	601,255	589,710	11,545	
10 宅地造成事業特別会計	8,214	8,214	0	
合 計	7,170,419	6,960,224	210,195	

### 平成19年度一般会計歳入歳出決算構成比の状況

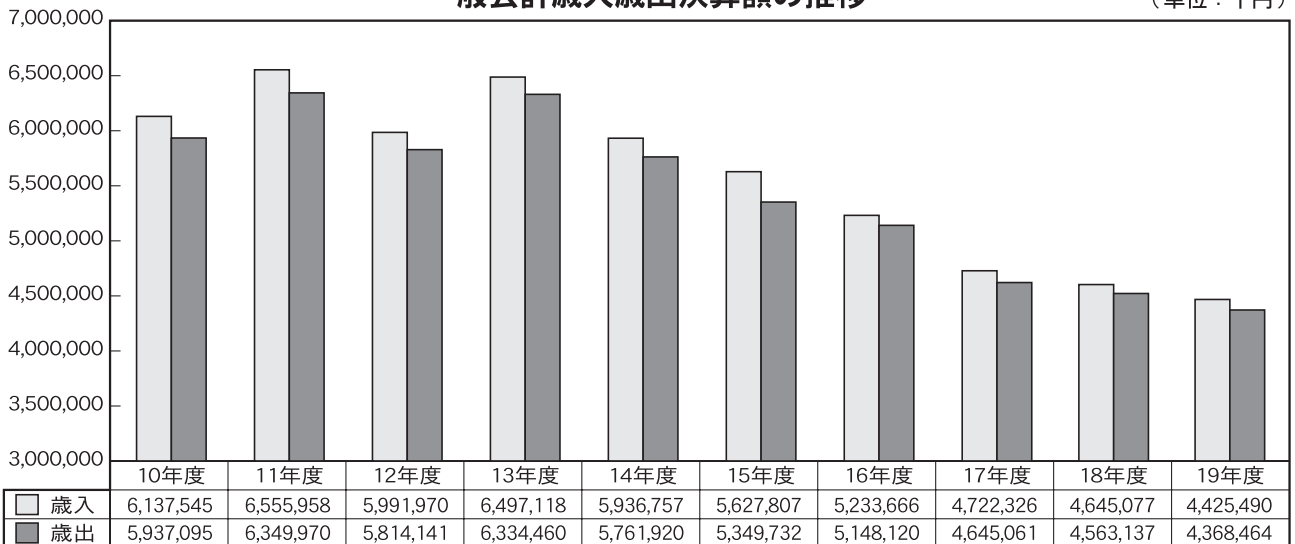


### 企業会計収益的収入及び支出決算状況 (単位:千円)

会 計	収益的収入	収益的支出	差 引
病院事業会計	743,923	743,434	489
水道事業会計	130,557	125,484	5,073

### 一般会計歳入歳出決算額の推移

(単位:千円)





# 質疑応答



決算特別委員会 委員長  
 渋谷雄三郎

## 一般会計

### 総務企画課担当事務事業

**Q** 協働のまちづくりの象徴事業の地域支援職員派遣事業が始まってから2年。成果は。

**A** 現在では町内全地区に派遣しており、地域との協働の観点を重視し、話し合いながら状況に応じて支援しています。本道寺（志津及び弓張平を含む）地区では、六十里越街道を通じて地域の活性化を図るなど各地区で成果が出ています。

**Q** 地域支援職員派遣事業で宮城大学と共同で実施している活動内容は。

**A** 11回にわたり事業の打合せを行ったり、職員研修のアドバイスをいただいたりしました。また、大学の関係者が地域のみなさんとふれあう機会もっています。今後は、地域のリーダーの方もいっしょに参画できるようにすることも考えていきます。

**Q** 冬季間の水利用について調査のうえ支援策を打ち出すべきでは。

**A** 現在のところは、町が流雪溝を設置すること考えています。

**Q** 森と湖に親しむついでい2007月山湖サマーフェスタで職員に勤務手当を支給しています。協働のまちづくりの観点から、まつりの際に支給するとは適当でないのでは。

**A** 基本的には、勤務時間内で終了するものは代休扱いとしています。しかし今回は、参議院議員選挙の投票日と重なり、職員が双方に分かれて勤務したために、選挙に準じて勤務手当を支給しています。

**Q** 月山湖水の文化館の売店の部分の所有者は。町の所有であれば賃借料を徴収すべきでは。

**A** 町が建設したもので、指定管理者制度の中で管理しているので徴収していませんが、今後とも検討していきます。

**Q** IJUTAIN事業の現状は。  
**A** 空き家対策では、所有者の方に売買や賃貸の意向があるものが28棟あります。15件の照会があり、実際に住んだ方は、間

沢で1件、大井沢で1件の合計2件です。

**Q** 空き家を借り上げてお試し宿泊ができるような手立ては。

**A** 町が直接介入することは難しいと考えており、他の機関等でできないか検討していきます。

**Q** 職員採用統一試験委託料の根拠は。

**A** 受験者一人あたり1千円弱です。

**Q** 西川のまちづくり応援団員333人の方について、町がめざしている人口集積地づくりや拠点地づくりに活かしていくべきでは。

**A** まちづくりのために大切な組織であり、要望を申し上げます。

**Q** 以前に計画した月山健康院構想の現状は。

**A** 産業振興等、それぞれの部分は活かされていますが、医療機関で人間ドックを実施していくことは難しいと考えています。

**Q** 西川町総合開発(株)及び(株)米

月山の現在の経営状況は。  
**A** 一生懸命やっていますが、思うようにいかない状況です。収益を上げるためにいろいろと考えを巡らしています。

### 町民税務課担当事務事業

**Q** 衛生組合長の努力で不法投棄がなくなってきました。不法投棄車の現状は。

**A** 年に1、2回は通報があります。その際は警察へ通報し、車番がわかれば所有者の方が処分するようになっていきます。

不法投棄の防止には、車に貼っていただいているステッカーが効果的であると考えています。

### 産業振興課担当事務事業

**Q** 森業・山業創出支援事業の間伐材を利用したモデル小屋の販売状況は。

**A** 大人の隠れ家と称して3坪の山小屋を販売したところ、2件の受注がありました。現在は9坪の山小屋も受注しています。

# 決算特別委員会

**Q** なら枯れ防除作業の現状は。  
**A** 平成18年度には40〜50本の木を伐採しましたが、その後、被害木がないために平成19年度は伐採していません。

**Q** 出羽三山文化復興のための「60歳からの詣で事業」の現状は。  
**A** 現在はまだPRの段階ですが、民間での事業も実施しています。

**Q** 六十里越街道の補修維持管理のためには、ボランティアやNPO法人に限らず、継続的な予算措置をして実施していく必要があるのでは。  
**A** 今後、調整していきます。

## 健康福祉課担当事務事業

**Q** 高齢者のうつ病予防対策事業の現状は。  
**A** 全国で高齢者の自殺が、3年連続で3万人を超えており、本町では平成18年度と19年度の2か年間、県のモデル事業として取り組みました。地区のミニデイでスクーリングを実施し、

地域包括支援センターで訪問したり、介護予防教室への参加を促すなどして対応しています。

**Q** 往診体制の現状は。  
**A** 町内に開業医がいない中で、町立病院では日中の往診は実施していますが、夜間はできない状況にあります。夜間の緊急時にあつては救急車を利用してください。

**Q** シルバー人材センターでは現在、仕事の発注者の方から平均7・9%の事務費をいただいで運営していますが、他の市町村では10%の事務費をいただいでいるところもあります。平成20年度の方向性は。  
**A** 独立採算のため事務費をいただく必要があり、事務職員の賃金や運営費に充てています。役場やケアハウス西川、西川町総合開発(株)等に1%の値上げをお願いしています。

## 建設水道課担当事務事業

**Q** 各地区から人気のあるマイロード整備事業の事業費を増額

すべきでは。  
**A** 要望状況を見ながら対応していきます。

**Q** 人口集積地づくりなど都市計画を実施する際には、都市計画審議委員の意見を聴く必要があるのでは。  
**A** 必要に応じて都市計画審議会を開催していきます。

**Q** 家賃月額が2万円程度の町営住宅を提供する必要があるのでは。  
**A** これまでは、国庫補助事業で低所得者向けに公営住宅、高所得者向けに特定公共賃貸住宅を整備して提供してきたために、家賃設定に条件があります。今後、町営住宅のあり方について検討していきます。

**Q** 公共下水道の接続率の向上を図るべきでは。  
**A** 供用開始から5年目を迎えた地区を対象に説明会を開催し、併せて戸別訪問も行っています。今後とも接続率の向上に努めていきます。

## 教育文化課担当事務事業

**Q** 町民の国内外研修派遣事業の該当者がいないことは残念なことです。職員も該当するようすべきでは。  
**A** 昭和61年度から実施しており、技術習得も含めて一定の成果を見てきたと考えています。職員も該当させていますが、今後さらに呼びかけをしながら実施していきます。

**Q** 今年、丸山薫少年少女文学賞で二十歳以上の成人の方の作品も募集しますが、記念事業として募集するのですか。  
**A** 第15回の節目を迎えるので、記念事業として募集します。来年以降については今後、検討していきます。

## 路線バス事業特別会計

**Q** 来年度の予算編成時まで、均一料金を見直すべきでは。  
**A** 現在、今後の方向性について検討しています。

# 決算認定の討論 請願、意見書

## 反対討論

渡邊久一郎

平成19年3月、町は統合小学校建設用地を海味アソウ地区に決定する旨を議会に提出しました。選定ポイントは、日照、静寂性、自然災害に対する安全性そして自然環境でした。

しかし、この地域は自然災害に対する安全性と自然環境に問題があるとの声が町民から上がりました。それが「小学校建設は一段高い所に」とする署名運動の輪となって広がりました。

その結果、有権者の過半数の署名簿が町に提出されたことは、ほとんどの町民の知るところです。しかし、町はこの署名簿の正当性を否定するため、様々な理由で認めようとはしませんでした。この町の姿勢に対して、黙ってはいるものの多くの町民は深い疑問を抱いていることは間違いありません。

町長の「多くの町民の声を町政に反映させる」という選挙公約とは逆行するものであり、反対します。

## 平成19年度一般会計決算

### 賛成討論

松田 昌一

平成19年度一般会計決算は、国や県、さらに多くの地方自治体が厳しい財政状況にある中で、厳しい財政状況を十分に認識しつつ、本町にとって必要な事業等を確実に実施した結果です。

本町の長年の懸案であった小学校児童数の減少に対処するなどのための小学校学区再編についても着実に進められましたし、町民の交流の場であり、文化及び芸術の拠点である開発センタ

ーの改修にも着手され、平成20年度に見事にリニューアルされオープンしました。厳しい財政状況の中にあっても、本町の将来を展望し、真に必要なものについては、着実に実施したものと評価します。

加えて、当初予算で基金からの繰入金金を3億5千万円ほど予定していたにもかかわらず、結果として繰入金金を6千万円まで減少させることができたことも大いに評価すべきであり、賛成します。



第3回9月定例会で採択された請願並びに議決された意見書は次のとおりです。

### 請願

◎燃料・生産資材等物価高騰を打破する政策実現に関する請願

提出者

さがえ西村山農業協同組合

代表理事組合長 今田 正夫

さがえ西村山農協農政対策協議会  
会長 今田 正夫

◎私学助成予算の充実について

提出者

山形県私学助成をすすめる会

代表 境澤 和男

### 意見書

◎燃料・生産資材等物価高騰を打破する政策実現を求める意見書

内容

燃料・肥料・飼料等生産資材価格の高騰により、農業生産活動は大きな打撃を受けています。消費者に安全・安心な農畜産物を提供するために抜本的な制度の確立と農業における燃料・生産資材等物価高騰の影響を抑制する緊急対策を政府に対して要請しました。

◎2009年度山形県予算における私学助成関係予算の増額を求める意見書

内容

山形県では近年、私学助成予算は削減の一途をたどっていますが、私立学校に関係するすべての人が願っている十分な教育保障、公私格差の是正のために2009年度山形県予算において私学助成関係予算を増額するよう山形県知事に対して要請しました。



## 観光立町をめざし、 観光基盤づくりをどう進めるのか

町長…観光客のニーズを捉え観光資源の発掘と活用を図る



宮林昌弘 議員



出羽の古道(六十里越街道)を歩く

本町は観光資源に恵まれ、観光開発を進めてきましたが、近年、旅行形態が団体から個人や小グループ化し、観光客のニーズも変わってきました。今後の観光開発をどう進めますか。月山夏スキーは、宿泊客が減少しており、今後、月山の観光資源の活用策をどう考えていますか。

観光客のニーズは、従来の観光地巡りから、訪れる地域の自

然、生活、人々とのふれあいや交流体験型へと大きく変化しています。団塊の世代、仙山交流、体験観光、月山の四季等、さらに訪日外国人旅行者を視野に入れて月山の資源を活用し積極的に進めます。

近年増加している農業体験や中年層の体験型旅行の指導者養成と観光関係機関の業務連携をどう進めますか。

農業体験学習は、大井沢地区の年間受け入れが3千人と確実に実績を伸ばしつつあります。さらに町内全域での体験受け入れを大きな目標とし、特に本年度は国のプロジェクトである「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受け入れ基盤整備を行います。

多くの歴史的文化遗产や六十里越街道を観光資源としての今後の活用策は。

六十里越街道については、あさひむら観光協会と連携しながら、本道寺を起点に志津地内の整備も含め、庄内までのルート

整備を進めています。町内の観光資源についても、点から線、そして面への観光を念頭に置き、資源の発掘と活用を進めます。

観光PRも含め、特産物を活かした土産品の開発の考えは。

直売所の盛況ぶりなど、観光客のニーズは多様であり、現在は本町産の山菜等の特産品に、山葡萄、こくわの加工、さらには間伐材利用の玩具等の開発もなされ、好評を得ています。関係者と連携しながら、本町の素材を活かした土産品開発を推進します。



大井沢地区の体験田植の受け入れ

## 統合小学校建設投資で 地元経済の活性化を

町長…投資効果が図られるよう進める



松田昌一 議員



統合小学校敷地造成工事

統合小学校の敷地造成工事が始まり、建設に向けて動き出しました。26億円の投資が地元経済に貢献できるようにする施策が必要と考えます。（敷地造成工事の金額等詳細は、14ページの臨時会をご覧ください。）

### 木材の使用について

地元の生産で、地元で製材された杉材の使用を。

できる限り地元産材を使用したいと考えています。しかし、発注前に木材を伐採して準備することや、地元産指定とすることが可能かどうかについては、法令及び制度上、許容される範囲で対処したいと考えています。

### 施工業者について

大規模工事では地元の業者が施工できないことがあります。地元の業者が施工できないことにより、地元経済の活性化が図られる施策を。

地元で最大の経済的な投資効果が図られるよう進めたいと考えています。しかし、入札については法令及び制度等に従って執行することは当然です。それらの定めにより、指名業者の選定を進めていきます。

### バイオマススタウン構想について

製材や林地の残材をチップ化して燃料、紙原料及び堆肥等に使用するバイオマス構想の実現性は。

チップ材を利用したバイオマスストーブ、あるいはボイラーの利用について、統合小学校での利用も検討しましたが、機器類が極めて高価なこと、管理の



廃食用油をリサイクルした燃料を使用している清掃車

問題、町内のチップ材の確保等の問題があり、現段階での利用は困難と考えています。

林業不振が限界集落を発生させた原因では。

国やマスコミ等で使われている限界集落という言葉、そのまま受け入れる気持ちにはなりません。林業不振がその一因であるとは思っています。営々として守り育ててきた森林資源を何とか活用できるよう努力しなければならぬと思います。



## 統合小学校町民検討会での 貴重な意見を天の声と捉えよ

### 町長…避難場所は災害の状況等で変わる



池上 博 議員



統合小学校建設基本計画町民検討会

害が発生している折、川沿いの統合小学校用地を適地とする根拠は、いまからでも高い所に変更すべきでは。

岩手・宮城内陸地震では、ダムの上流で凄まじい土砂崩落が起きました。月山周辺も、この地帯と似た地質と気象条件にあるということも聞いていますが、最近の局地的集中豪雨への対応を含め、本町の場合は、寒河江川流域全体について、このような災害を未然に防止又は減災す

6月定例会で一般質問を行った翌々日に岩手・宮城内陸地震が発生。月山の周辺も同じ地質で危険が大きいと発表され、町及び議会は討議し、町民への注意喚起と説明が必要なのは。また、各地で集中豪雨による大きな被害が発生している折、川沿いの統合小学校用地を適地とする根拠は、いまからでも高い所に変更すべきでは。

### 町民検討会での意見

8月3日に開催された町民検討会では、「町民の避難場所になるのか。」「西風が強く防雪林が必要なのは。」「川

風があり、蛇が多く、日没が早いためにプールの使用が少なくなるのでは。」「施設の一般開放に伴う不審者対策は。」「安全柵等の安全対策は万全か。」などの意見が出されました。

避難場所にもなりますが、災害の状況等によって避難場所の誘導は変わることがあります。西風対

策は、風除室や雁木を利用した専用通路の設置を計画しており、強風にさらされたままにはならない計画です。プールについては、現在の各小学校の利用状況から判断して利用日数も十分に確保されます。不審者対策は、体育館、グラウンドともに現在と同様の利用形態になりますが、図書館等については、設備及び人的体制等の整備を図っていきます。安全柵等については、環境にマッチしたフェンスを設置し、出入口等危険箇所には施設も必要と考えています。



平成20年度西山小学校大運動会

## 統合小学校町民検討会の 意見・要望の反映を

町長…財政面も考慮し必要なことは最大限活用していく



西川町総合開発(株)  
(月山自然水製造)



渋谷 雄三郎 議員

第5次総は定住人口の維持確保を中心に計画されていますが、拠点地整備事業以外の事業の財源的な裏づけの提示を。  
また、統合小学校町民検討会の意見や要望を基本設計にどのように反映されますか。

第5次総の計画は、本年度から22年度まで中期の実施計画の時期になっています。計画期間内の主要事業や、そのための財政計画は、先にご説明しているとおりです。

統合小学校町民検討会の意見や要望については、財政的なことも考慮に入れて必要なことは最大限活用していくべきと考えています。

議会行政視察の長野県下條村の取り組みをどのように捉えますか。  
また、若者定住対策で取り組めるものは。  
(下條村について

は、15ページをご覧ください。)

人口4千人ほどの村で、若者向けのアパート建設や中学生までの医療費の無料化などで4百人ほどの人口増の成果を上げているとお聞きしました。

加えて雇用の確保が重要なのだろうと思っています。十分参考にしたいと考えています。

石田地内の雇用促進住宅を購入する考えは。

また、町営アパート建設の考えは。

国は当初、平成33年までにすべての処理を完了すると閣議決定していました。しかし、その後、処理業務が加速され、平成20年度末までに譲渡希望の確認要請があり現在、独立行政法人雇用・能力開発機構と譲渡条件について協議を進めており、これらを踏まえて判断します。  
町営アパート建設については、町道間沢海味線の拠点地整備構想に基づき、具体的事業の内容、財政計画を検討する中において進めています。



雇用促進住宅 睦合宿舍

町の行財政改革のために町長公用車廃止の考えは。  
また、第三セクターのあり方の基本的な考えは。

朝から夜まで、平日休日問わず任務を全うするために、公用車は必要不可欠と考えています。

第三セクターは、民間と公共の各自が、容易に果たし得ないことを補完するもので、運営の基本は自らの努力によって運営されるべきものと考えます。

## 使いやすい統合小学校の建設を

### 町長…西側の雪対策は風除室や防風林等を検討する



古澤 俊一 議員



平成20年度水沢小学校大運動会

**26億円の建設  
予算を低価格  
に抑えられな  
いか**

将来的な財政状況を踏まえ、使いやすく、外観はシンプルに、そして精一杯コスト削減に努めるべきでは

総額については、これまでも説明してきたとおり26億円で計画しています。町民検討会等

の意見、要望を採り入れた基本設計を行っており、具体的な予算については、その時点でご説明します。

**将来的に雪による負担  
がかからない施設を**

年間を通して多用途に活用できるピロティの採用は、

また、将来的に機械及び人的労務の少ない設計の考えは、特に昇降口の西側設置や屋根などの雪対策の配慮が必要なのでは

ピロティについては当初計画していませんでしたが、検討会等の意見を反映し、体育館をピロティにしています。

西側入口での雪対策は、風除室や防風林の検討等で万全を期したいと思います。屋根からの落雪対応についても、維持管理コスト的にも考慮し、堆雪帯、雁木、たいらな陸屋根等で対処します。

**一般供用施設の安全性は**

児童と住民が共用する図書館は、十分なセキュリティを施しても、学校運営に支障を来しませんか。

来館者は図書館司書対応とし、通常は校舎内への出入りは制限します。従いまして、教職員の負担にはならないと考えています。セキュリティについては、校舎部との施錠管理のほか、監視カメラや防犯ブザーの設置も検討します。

**廃校施設を町立図書館として活用することは**

現在展示している郷土資料と廃校となる小中学校の資料を合わせて、廃校施設を利用して町立図書館としての活用は、

選択肢のひとつではあると思います。しかし、どの校舎を利用するかもありますが、校舎全体の維持管理費、利用、構造及び目的外利用による消防法等、法的な面で大幅な改修も想定され、経済的、利用面からも学校図書館に併設し効果的な図書館にしたいと考えます。



町立図書館



## 統合小学校建設は、住民による署名運動を無視し、 26億円ありきの事業ではないか

町長…議決をいただいております、建設費は過大でなく、26億円ありきではない



第53回睦合地区区民大運動会



渡邊 久一郎 議員

新築一校は、平成18年4月の議会特別委員会で否決されましたが、建設に向け進行中です。議会軽視ではありませんか。

議長の諮問による特別委員会であり、平成18年4月の委員会だけでなく、その後の経過もあります。学校建設については、議決をいただいております、軽視はしていません。

統合小学校開校時の児童数では11学級です。計画では12教室となつていますが、また、建設費計画で示したm当たりの単価が30万円などは、本町の財政規模では贅沢であり、26億円ありきと思えますが、

平成24年度の統合時は、2学年が1クラスで11学級ですが、

進級、後年度の新入生が2クラスあり、各学級2クラスの設置が必要です。

建設費については、現在の補助要綱に準じており、特に過大とは思っていませんし、詳細は今後の積算で具体化することになります。26億円ありきではありません。

現在の町内の経済状況をどう捉えていますか。

非常に厳しい状況であると判断しています。



町内の製作所

統合小学校の建設計画は、一貫性がなく補助金がある、借金ができるからとしか考えられない計画です。

現在のような経済状況でも、地方自治体だけは別ものだという思いがあるのでは。

統合小学校建設は、当初から一貫して児童数の減少に伴う、学区再編と学校教育の充実振興を目的としています。その実現のため、経済、財政状況を反映した第5次総の財政計画に基づき実施しており、決して経済状況を無視しているつもりはありません。

## 小学校跡地利用と新住宅団地構想は

町長…多方面に検討を加え、計画を進める



青山知教 議員



第61回吉川区民大運動会



### 統合後の小学校の跡地 利用策は

地域の文化、精神的支柱でもある小学校の統合後の広大な跡地の利用は、建設計画とリンクし進めるべきでは。

現況では、大井沢小学校は山形短期大学と利活用について仮協定を結んでいることや、入間小学校は休校した学校の資料展

示を行っています。他の学校は地域での体育館利用程度です。キノコ栽培での利用の問い合わせなどもありますが、今後、庁内でのプロジェクトによる検討も計画しています。いずれにしても難題であり、議員各位のご助言もお願いします。

### 新住宅団地構想 について

定住人口の維持確保を掲げての団地化構想は、各世代間での変化、多様化する需要、要望等を的確に捉えた計画を進めるべきでは。

これまでの公営住宅や西川せせらぎ団地などの整備経験を活かしながら、定住人口を維持確保するため、若者、高齢者、IJUターナーなどいろいろなニーズを踏まえながら検討を進めます。

**安中坊大江公館跡の整備**  
「介護予防公園」として吉川区の整備検討委員会と協働し進めるべきでは。

本年度は跡地管理が容易にできるよう整地を行います。今後の利用方法については、介護予防公園も含め、地元吉川区民の意見を賜わりながら検討していきます。安中坊の歴史を伝えられるような、地域とまちづくりの方向性を見出しただければと考えています。



安中坊遺跡整備検討委員会(9月10日)

# 議会のうごき



## 臨時会

### ■8月12日(第3回)

◎ロータリ除雪車(2・2m級)の購入(全員賛成)

次のとおり、町が購入することを議決しました。

金額 2698万5千円

購入先 新庄市大字福田字福田山711番69

(株)カワサキマシンシステムズ山形営業所

◎路線バス(29人乗り)の購入(全員賛成)

次のとおり、町が購入することを議決しました。

金額 794万8500円

購入先 山形市大字漆山字北上原1358番地

太平興業(株)山形支店

◎平成20年度統合小学校敷地造成工事(1工区)請負契約の締結(賛成6人、反対3人)

次のとおり、町が請負契約を締結することを議決しました。

金額 5145万円

相手方 西川町大字間沢114番地5

遠藤建設(株)

◎監査の執行に関する条例の一部改正(全員賛成)

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い審査方法を定め、併せて規定を整備しました。

## 常任委員会

総務厚生常任委員会  
産業建設常任委員会

### ■7月8日～10日

◎合同行政調査

◆若者定住促進策について

長野県下條村

◆振興公社の運営について

長野県高森町

内容については、15ページをご覧ください。

### ■9月6日

◎請願の審査

第3回9月定例会で受理した

次の請願を審査しました。

「私学助成予算の充実について」

(総務厚生常任委員会)

「燃料・生産資材等物価高騰

を打破する政策実現に関する請

願」(産業建設常任委員会)

産業建設常任委員会

### ■7月23日

◎町の農林業の現状と課題調査

さがえ西村山農協西川支所、

西村山地方森林組合及び町産業

振興課の職員を交えて、町の農

林業の現状と課題について意見

交換を行いました。

農業については、「本町では

稲作が中心であるが、収益を上

げるためには、土作りなども含

めて畑作の基盤を整備し、産地

化を図らなければならない。」「高

齢者や女性の方でもできる農業

をめざして栽培作物を検討して

いる。」などの発言がありました。

一方、林業については、「振

興のために、需要の拡大と供給

の安定が欠かせない。県内でも

住宅建築の8割がハウスメーカ

ーと言われている。地産地消の

観点からも地元産の木材を使用

して欲しい。」「町内には、樹齢

80年以上の西山杉が2300ha、

数量にして50万石(14万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>)あ

り、1万石(2800<sup>3</sup>m)程度

であれば、いつでも供給できる。

統合小学校にもぜひ使用して欲

しい。」などの発言がありました。

た。

町の農林業を取り巻く状況が

厳しい中で、議会、町、農協及

び森林組合等が連携を図りなが

ら、振興策を模索していくこと

が話し合われました。

広報公聴常任委員会

◎にしかわ議会だより(66号)の編集

■9月9日(編集会議)

■9月25日(レイアウト)

■10月2日(初校)

■10月6日(二校)

■10月9日(三校)



## 議会運営委員会

### 8月7日

第3回臨時会（8月12日）の運営について決定しました。

### 8月25日

第3回定例会（9月3日～11日）の運営について決定しました。

## 全員協議会

### 8月12日

◎県立高校教育改革実施計画の考え方

西村山地区の高校再編の検討の進め方について県教育委員会から説明がありました。

県教育委員会では、平成17年度から26年度までの10か年間で県内の中学校卒業生が約3千人減少するため、高校の統廃合を進めています。

西村山地区については、有識

者による検討委員会を設置し、平成22年3月までに高校教育のあり方についてまとめ、その後、具体的な検討を行う予定です。

検討委員会の設置に先立ち、10月21日午後7時から西川交流センターあいべで説明会が開催されます。

### 9月6日

◎平成19年度健全化判断比率及び資金不足比率

比率については、2ページをご覧ください。

### ◎統合小学校建設

統合小学校の基本計画等については、5月19日の議会全員協議会で説明がありました。その後、3回にわたる基本設計検討委員会や8月3日の町民検討会等が出された意見を反映した基本計画について町から説明がありました。

今後、町では12月までに実施設計をまとめる予定です。

## 行政調査報告

### 若者定住促進策について

長野県下條村

下條村は、過疎と人口減少に悩む町村が多い中で、人口が増えている、若者定住が進み子どもが増えている村です。

下條村では平成4年に現在の村長が就任してから、子育て支援を最重要課題として取り組んできました。

一つは医療費の中学校卒業までの無料化です。

二つ目は若者定住促進のための村営住宅の建設です。平成9年度から現在まで178戸の住宅を建設し、全部満室で、本年度と来年度も建設する予定です。三つ目は保育料の一律10%の引き下げです。

その結果、人口4200人の村で毎年40～50人の子どもが生まれているそうです。

ただ、子育て若者定住対策に比べて、独身者及び高齢者対策がどうなっているのか気になりました。

（総務厚生常任委員会副委員長

渋谷 雄二郎）

### 振興公社の運営について

長野県高森町

高森町は、天竜川が優雅に流れ、近隣からの人口流入で人口が増えている町です。

高森町では、本町が第三セクターで運営している法人を財団法人の高森町まちづくり振興公社を設立して運営しています。町が全額出資し、昭和47年9月に設立しました。現在は6人の正社員と約40人の臨時社員で運営しています。

振興公社の主な事業は、信州たかもり温泉事業です。宿泊・宴会施設と日帰り入浴施設の二つを兼ね備え、ピーク時の年間利用客は17万人、3億円の売り上げがありました。最近では、近隣にも同じような施設がオープンし、併せて燃料高騰が影響して厳しい運営を迫られています。黒字経営を維持しています。背景にはリピーターが増えるような接客姿勢の徹底があるように見受けられました。

古澤 俊一

（産業建設常任委員会副委員長

7月31日、ふるさとクーポン事業や地域支援職員派遣事業の取り組み状況調査のため、10人の議員が来町されました。

### 岩手県八幡平市議会

7月24日、自立と協働のまちづくりの取り組み状況調査のため、7人の議員と議会事務局職員1人の8人が来町されました。

### 青森県平内町議会

行政調査のために  
来町された議会



信州たかもり温泉

# カサブランカ栽培

6万本を出荷

金子 恵一郎 さん(66歳)、光 弥 さん(36歳)(檜原)



息子と家内の3人でカサブランカの出荷に追われる毎日です。カサブランカとの出会いは平成7年、さがえ西村山農協に「さがえ西村山ユリ研究会」が発足し、15人で栽培を始めたことです。平成18年には「ユリ部会」と名称を変え、現在では、発足当初の半数以下の7人まで減ってきました。それほど栽培が難しい品目だと実感しています。

栽培を始めたころは、球根を輸入し、それを自分で養成しましたが、30〜50%がウィルスに感染して使い物にならず、7年で断念しました。それから毎年、オランダから輸入した球根を使って栽培しています。茎の硬さ、葉の色及び形、つぼみの大きさ、この三項目をクリアするのは至難の業です。結果が出るのは出荷の直前で、それから対処したのでは間に合わないのです。

毎年6月下旬から8月中旬にかけて3万本を定植し、6月中旬から11月下旬までの間、前年に定植した分を含めた6万本を関東及び関西方面へ出荷しています。定植と出荷の時期が重なる6月下旬から8月中旬までは猫の手も借りたくないほどです。

一番の悩みは、雪解け時期のネズミの被害です。今春は約1万本の根が食い荒らされました。栽培農家が増えているためか出荷価格は下降傾向にあります。お客様から「よそのカサブランカとは純白さが違いますね。」とお言葉をいただいたときに嬉しいものです。

途中で投げ出したら、次に栽培する品目も投げ出すようになるとの信念と、自分の仕事を子どもに見せようという心がけながらカサブランカの栽培に打ち込んできました。ようやく自分で納得しながら栽培できるようになってきたのかなと感じています。そして毎日、息子と家内といっしょに汗を流すことができる楽しみを味わっています。



66号の表紙

爽快!?  
寒河江川下り



8月28日に行われた西山小学校の「西山ダッシュ村」西川の良さを体感し、郷土を愛する児童を育成することを目的に、全児童が寒河江川で川下りに挑戦しました。冷たい水の中で、楽しみ半分、恐さ半分で川の流れに身を任せていました。

## 編集後記

今年は原油高騰、そして連動して諸物価の値上げの続出と生活不安が広がっています。現実をしっかりと直視することが肝要であると考えています。

また、自然災害が頻発し、隣国では大地震が発生しました。間を置かず国内で、それも隣県で立て続けに大地震に見舞われました。さらにゲリラ的集中豪雨。その猛威の前に人間の無力さを痛感しました。人知では天変地異の予知・予測は至難と言われています。

しかし、防災と減災の努力は可能なことであり、それは将来の危険を予測し、安全・安心が確保できないものは避けることが基本であると識者は語っています。

異常な経済と気象。まずは日々の用心と有事への備えを欠いてはなりません。

(池上 博)

議会へのおさそい  
皆さん傍聴してみませんか  
次回定例会は  
12月招集です

《発行・編集責任者》	
議長	黒坂 久一
《編集委員》	
委員長	井場 榮治
副委員長	池上 博
委員	宮林 昌弘
委員	青山 知教